

医学系研究に関する情報公開および研究協力をお願い

彩の国東大宮メディカルセンターでは、当院の倫理・臨床研究審査委員会の承認を得て、下記の医学系研究を実施しております。

研究の実施にあたり、対象となる方の既に存在する試料や情報、記録、あるいは、今後の情報、記録などを使用させていただきますが、対象となる方に新たな負担や制限が加わることは一切ありません。ご自身の試料や情報、記録を研究に使用してほしくない場合や研究に関するお問い合わせなどがある場合は、以下の「問い合わせ窓口」までご連絡ください。研究への参加を希望されない場合、研究対象から除外させていただきます。研究への参加は自由意志であり、研究に参加されない場合でも、不利益を受けることは一切ありませんのでご安心ください。

研究課題名 (研究番号)	第 37 回埼玉県診療放射線技師学術大会(No.56)
研究責任者 (所属)	畠山 栞 (放射線科)
研究実施期間	2024/1/17～2024/2/28
研究等の概要	【目的】特発性大網捻転症は比較的まれな疾患である。今回特発性大網捻転症の 1 例を経験したので報告する。 【方法】右上腹部痛を主訴に胆嚢炎疑いにて紹介受診患者の造影 CT を行った。技師の一次所見と診断医の所見を照らし合わせ、整合性ならびに所見の特異性を比較した。 【結果】技師の一次所見として胆嚢腫大、胆管拡張は認めなかったが胆嚢周囲に脂肪織濃度上昇を認めた。読影医の所見として、肝前下部の大網右側と思われる領域に局限した脂肪織濃度上昇ならびに右胃大網静脈から連続する静脈が限局的に捻転している所見が見られた。 【考察】技師の一次所見と読影医の所見では、脂肪織濃度上昇の所見の一致を認めた。しかし、大網捻転症を疑う血管の捻転所見に対して技師の一次所見では初めて見る所見であり、気づくことができなかった。 【まとめ】本症例所見から、右腹部痛の症例では虫垂炎、胆嚢炎等の鑑別疾患の一つとして考えることが必要と思われる。
個人情報の取扱い	利用する情報から氏名や住所等の患者さんを直接特定できる個人情報は削除いたします。また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

問い合わせ窓口

倫理・臨床研究審査委員会 臨床研究事務局
電話：048-665-6111(代表)